

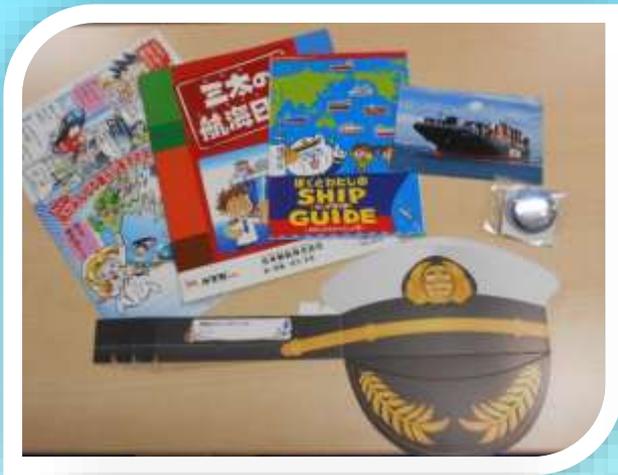
地球にやさしい船とみらいのエコシップ



平成 29 年 8 月 19 日（土曜日）10：00～12：00 にかごしま環境未来館 2 階多目的ホールで「地球にやさしい船とみらいのエコシップ」講座を開催しました。講師は日本郵船株式会社海上人事チームの二等航海士、内山拓哉さんです。今回は講座の講師としてお話を頂きましたが、現在 20 代で航海士として今まで訪れた国はなんと 39 か国！航海距離にすると地球 14.2 周分！だそうです。



船にも色々な種類があること、また飛行機やトラック等にくらべてたくさんの量の荷物を環境にやさしい方法で運ぶことができることなどを学びました。右の絵はコンテナ船（主に荷物を運ぶ）や客船（主に人を運ぶ）や海賊船などのイラストです。現在では絵のような海賊船ではなく、機関銃などを装備している近代的な海賊船が存在しており、講師も航海中に何度も襲われそうになったことがあるそうです。そのため、荷物や船員を守れるような装備をしていたり、様々な事態に対応できるよう訓練を行っているそうです。



1人に1セットずつ配られた資料の中には、シールつきの絵本やバッジ、葉書き、ペーパークラフトの帽子などがあり、シールを貼ったり帽子を作ったりしながら楽しく船の勉強をしました。船は世界で一番大きな乗り物で、鉄道、トラックなどの陸上輸送と比べて、世界の物資の99.6%を運んでいます。だからこそ燃料や燃費に気をつけたり、環境に配慮した技術を進化させたりしながら海での役割を果たしています。



左上の図は「NYK スーパーエコシップ 2030」という船で、2030年に向けて日本郵船が計画作成している未来のスーパーエコシップです。従来の重油ではなく燃料電池を搭載し、ソーラーパネルや風の利用、船底から小さな泡を出して摩擦抵抗を減らす等の工夫をし、既存の船舶より二酸化炭素の排出量を69%も削減できます。また船の中央には大きな木が植えられており、船員たちにとっての癒しの空間も演出されている夢のような船です。今日受講した子どもたちが大人になった頃にはこの船が運航しているところが見られるかもしれません。楽しみですな〜/ 講師の内山さん、受講者のみなさん、ありがとうございました。